

# スマイルタイムズ

No, 199

## 週一の福島行き

小児科医師 中山 真里子

10月になり、朝晩は肌寒ささえ感じるようになりましたが、日中の気温はかなり高く1日の温度差がずいぶんあり衣服の調節に苦労する今日この頃です。体調をくずされていませんか？

それにしても季節がかなりずれているようです。今年の9月は異常に暑く、季節を教えてくれる植物にも異変がありました。その名の通り、秋のお彼岸の頃に土手や田んぼの畦に花を咲かせる彼岸花は、2週間ほど遅く、また、どこからともなく甘い香りを漂わせ、10月を知らせてくれる金木犀も同じく遅れて咲いていました。この分だと紅葉も遅そうですね。

そんなことを感じながら過ごすうちに今年もあと2ヶ月余りとなってしまいました。

歳と共に時間が早く過ぎるようです。今年はおおさらです。4月から週一回、皆様に大変ご迷惑をおかけしている、福島までのプチ旅行?!です。ますます1週間が速く過ぎていきます。小浜に住むようになり、冠婚葬祭の折に帰省する程度で、数えるくらいしか訪れなかった実家に、毎週毎週行くことになろうとは夢だに思いませんでした。それもこれも3.11の地震からです。

耐震構造に問題があった実家の病院の新築を計画していた矢先、地震が本当に建物を使えなくしてしまいました。他の施設に移り、新院の完成を夢見つつ、診療に当たっていた弟Tが突然亡くなり、その遺志を継いだ弟Fにより今年の4月、新院が無事落成しました。Tの思いが詰まった病院に立つたび、彼の無念さを感じ、生前、彼からのSOSに応えることができなかっただけに“待ってたよ、遅かったね”と言われているような気持ちです。彼の手術を受けた患者さんから“先に逝っちゃって”や“お世話になってました”と言って頂いて、彼の生の再確認をしている思いです。

めったに会えなかった母は毎週待っているようで、また、私にとっては、電車の乗り継ぎなどで駅の構内を歩くという、運動ができる機会と、今まで縁のなかった疾病などを勉強する機会ともなり、老化防止に役立っているようです!?

狭い日本とはいえ、南北に長く、これから雪の季節に向かい、天候の影響を受ける電車での移動はやや不安で、大雪で電車が止まることはありませんよう祈りつつ、プチ旅行に出かけます。

### 参考

### イギリスの医療制度

東京慈恵医科大小児科講師 所 敏治

イギリスの医療制度は国営が基本です。住民すべてが無料の医

平成24(2012)年 10月29日(月)発行

発行者 小浜市多田2-2 -1 中山クリニック 院長 中山茂樹

<http://www.nakayama-clinic.jp>

... ..

療を受けられる素晴らしい制度です。この制度は国家予算で運営されていますが最近では財政難のため医療費が削減され、一般医療のレベルが低下して、イギリスの大きな問題のひとつとされています。

イギリスの医療をうけるには2通りの方法があります。1つは国営医療機関(NHS = National Health Service)を受診するか、2つは私費医療にするか、です。一定レベル以上の医療を早急に望む場合(金銭的余裕もある場合)は私費医療を選びます。

イギリスでは子供は医療の面でも優遇されており、16歳までは歯科診療、眼鏡の基本料金は無料です。救急処置も子供は優先的にすばやく対処され、小児科病棟も大人の病棟にくらべ比較的整備されています。

イギリスの医師は検査、治療をあまりしません。なるべく自然にまかせる傾向にあり、国民の間にも同じ意識が浸透しているようです。特に薬は日本のように安易に使用せず、抗生剤もなるべく基本的なものから使用します。レントゲン検査には敏感で小児の場合はよほどのことがない限り撮影しません。これらは病気に対する考え方の違いからきているようです。

### 藤原正彦の「基盤道路と宗教」の一文より

宗教からくる理想主義や攻撃性、あるいは為政者の強弱はその国の道路が整然としているかどうかにかかわる。アメリカやイスラムの大都市を見ると多くは基盤の目である。ところがアメリカと同じキリスト教でありながら、イギリスでは高速道路を除きまっすぐの道を探すのに苦労する。ビートルズが“ザ・ロング・アンド・ワインディング・ロード(長く曲がりくねった道)”と歌った通りだ。神の存在を信じる人はアメリカ95%、イギリス60%、日本33%、イギリス人は理想主義でも攻撃的でもない、と言えそう。(保守的、科学的なのかな)

<あとがき> 1) 真里子Dr.の文に少し説明を加えます。昨年、3.11東日本大震災により、50キロも離れた所からでも来られる患者さんの対応で過労になられたか、真里子Dr.の弟T氏は心筋梗塞のために50歳の若さで急逝されました。福島県須賀川市の医療法人三愛会池田温泉病院、池田記念病院、養老ホームなどの理事長、医師でした。ために真里子Dr.はこの病院の手助けのため、この4月から毎週水曜日の午後より木曜日の夕方まで、同市の弟F医師のもとに行かれています。片道6時間もかかっています。真里子Dr.が過労になられませぬよう祈ります。2) 当院、ミニギャラリーは東護(あずまもる)氏の油絵から月末より飛永博(とびながひろし)氏(若狭町山内出身 現住所大阪)の写真に代ります。ベテランの作品です。写真は久しぶりです。お楽しみ下さい。3) 院内旅行は今回は鳥取砂丘でした。砂丘の科学は面白いですね。